

## 人工知能 KIBIT による企業の課題解決を FRONTEO のエキスパートがお客様に代わって行なう 「AI プロセスアウトソーシング」を提供

人工知能を活用して、膨大な文書やテキストデータから課題解決を導き出すための「解析・導入・運用」のプロセスをお客様に代わって実施。  
AI 製品の提供からトレーニング、実際の運用まで一貫したサービス体系を構築

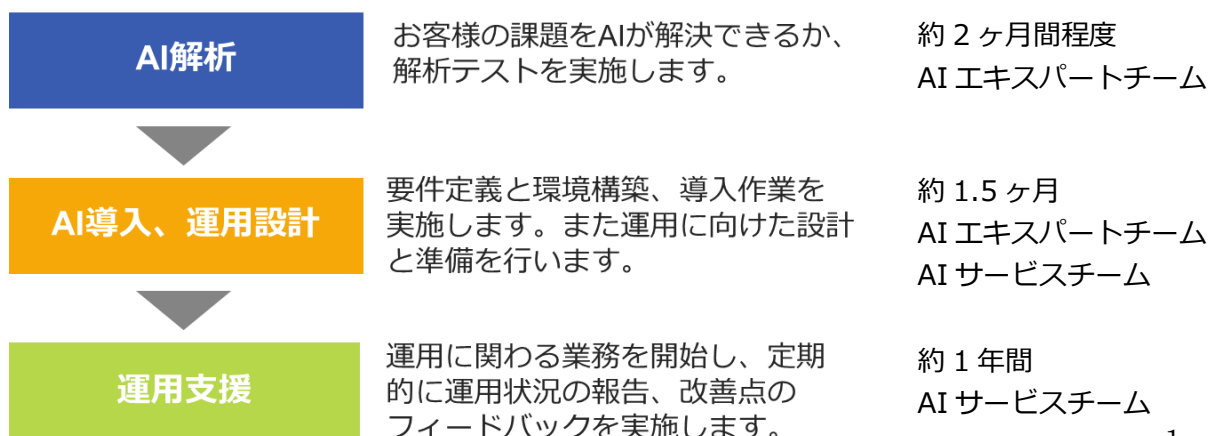
人工知能を駆使したビッグデータ解析事業を手がける株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏）は、企業などが人工知能を活用する時に課題となる「導入時のつまずき」を解消し、「効果的な運用の継続」を実現するために、FRONTEOのエキスパートとサービスチームが、お客様に代わってAI（人工知能）活用プロセスを推進する「AIプロセスアウトソーシング（APO）」の提供を開始すると発表しました。

「AIプロセスアウトソーシング」は、人工知能の導入経験が無いお客様でも人工知能エンジン「KIBIT（キビット）」を業務の改善や課題解決に活用するための取り組みです。本サービスでは、FRONTEOの人工知能のエキスパートや、AIの運用を担当しているサービスチームが、解析のテスト段階から導入、運用設計をサポートするだけでなく、実際に稼働を開始した後の運用もお客様に代わって担当することにより、AIやデータを扱う専門家が企業内にいなくても、実効性の高いAIの利用を実現します。

FRONTEOが独自に開発した人工知能「KIBIT」は、多くの企業で蓄積していながら利用できていない文書やテキストを解析し、情報資産として活かすことで、継続的な課題の解決を実現しています。営業日報やお客様からのお問い合わせなど、多くの文書・メール、社内外でのSNSなどあらゆる「テキスト化」されたデータの中から、知りたい、見つけ出したい事柄や結果を抽出し、企業が「見るべき情報」を絞り込んだり、潜在的なリスクやチャンスを引き彫りしたりすることで日々使われています。

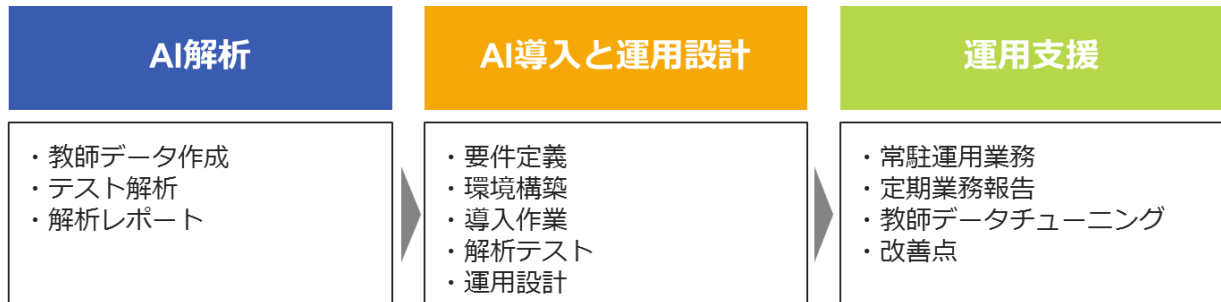
本サービスは以下のステップで進めていきます。最初のステップであるAI解析の提供価格は、300万円からで、AI導入や運用設計、運用支援は期間や規模により変動します。

### 「AIプロセスアウトソーシング」のステップと標準的な期間、担当チーム



「AIプロセスアウトソーシング」の提供では、人工知能の技術や特性、業務支援での活用に精通したAIエキスパートと、多くのKIBITの導入・運用実績を持ち、日々お客様の支援と運用業務を担当しているAIサービスチームが、お客様に代わって高いレベルの知的業務を担当します。

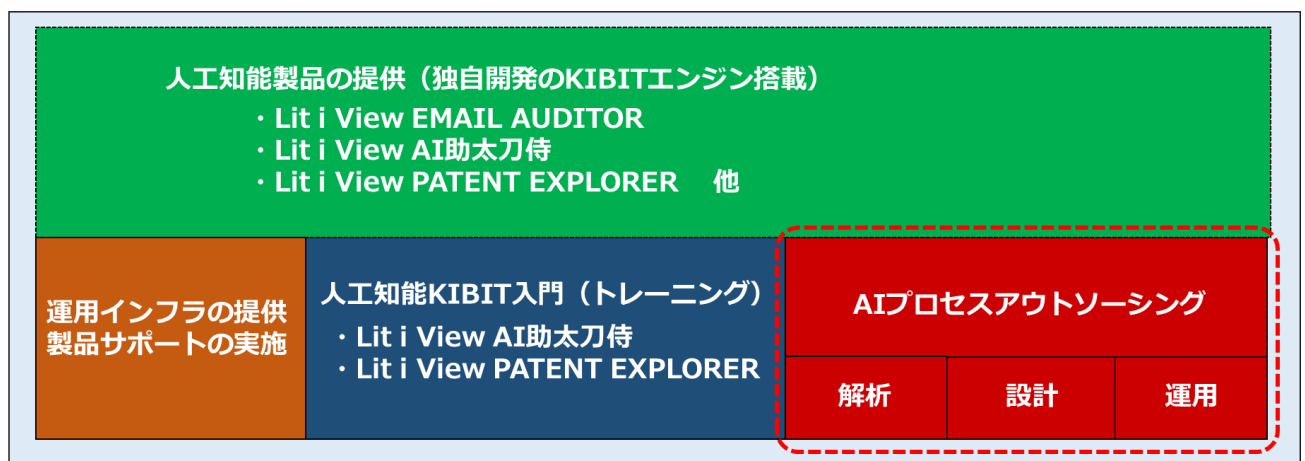
### 「AIプロセスアウトソーシング」各段階での実施内容



人工知能への注目があつまり、企業などの導入検討が進む一方で、取り扱う専門人材の不足やどのように使ってよいか分からない、実装や運用の経験がない、試験的な導入でも大きな費用がかかる、などの問題点があげられています。

FRONTEOでは、今回のサービスにより、日本国内の企業や団体が人工知能を活用する機会を増やすことのできる一貫した体系を構築しました。製品では、Lit i View AI助太刀侍やEMAL AUDITOR、PATENT EXPLORERをはじめ、用途・目的に応じて、短期間で導入できる人工知能のアプリケーション化に力を入れています。またAIを活用するエキスパートを育成するプログラムも提供しています。今回の「AIプロセスアウトソーシング」により、企業活動で役に立つ人工知能による解析結果を生み出していきます。

### 製品・サポートの提供からトレーニング、運用までEnd to Endの一貫した体制



AIによるお客様の課題解決を継続的に提供

## ■KIBITについて

FRONTEOの人工知能「KIBIT」は、人工知能関連技術のLandscapingと行動情報科学を組み合わせた日本発の人工知能エンジンで、人間の心の「機微」(KIBI)と、情報量の単位である「ビット」(BIT)を組み合わせ、「人間の機微を理解する人工知能」を意味しています。テキストから文章の意味を読み取り、人の暗黙知や感覚を学ぶことで、人に代わって、判断や情報の選び方を再現することができます。

【FRONTEO について】 URL: <http://www.fronteo.com/>

株式会社 FRONTEO は、独自開発の人工知能エンジン「KIBIT」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行う e ディスカバリ(電子証拠開示)や、コンピュータフォレンジック調査を支援する企業として 2003 年 8 月に設立。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Liti View<sup>®</sup>(リット・アイ・ビュー)」、アジア言語に対応した「Predictive Coding<sup>®</sup>(プレディクティブ・コーディング)」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援を提供しています。同事業で培われ、発展した独自の人工知能関連技術は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現。最近ではヘルスケアやビジネス・インテリジェンス、マーケティングなどの領域に活用し、事業の拡大を進めています。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ、2013 年 5 月 16 日 NASDAQ 上場。資本金 1,764,965 千円(2016 年 9 月 30 日現在)。2016 年 7 月 1 日付けで株式会社 UBIC から現社名に変更しております。

<本件に関するお問合せ先>

株式会社 FRONTEO 広報(担当:池内、西岡)  
TEL: 03-5463-6380 FAX: 03-5463-6345